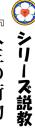


それで、このキリストによってわたしたち両方の者が 一つの霊に結ばれて、御父に近づくことができるのです。 エフェソの信徒への手紙 2章 18節



礼拝献花より

神と共に 人と共に



『人生の荷物』

ルカ13章22節~3節 牧師 佐藤和宏

間の信仰です。

それ以来、ルカによる福音書はエル られた日課、ルカによる福音書9章 音書の脈略が私たちに期待している を向けて見る、これがルカによる福 架を念頭に置いて、今日の日課に目 るとわかるのです。キリストの十字 事として受け止めることが重要であ 面もまた、十字架への途上での出来 ます。このことから、当然今日の場 出来事をたどっていることがわかり サレムへの途上、十字架への道での られた」とあったのです。つまり、 と、エルサレムに向かう決意を固め スは、天に上げられる時期が近づく をお話ししました。そこには、「イエ 受難への道が明確に始められたこと 51節以下に触れました際、ここから ことなのです。 7月のとある礼拝において、 与え

来する「信仰義認」という理解、 生は、その著書の中で、 藤が丘教会初代牧師の江口再起先 パウロに由 す

> その人の救いを決定づけるかのよう テル教会では言うのですが、いつの あるかのように誤解しているのです。 条件はないにもかかわらず、それが 熱意にしても、救いについて一切の は信仰にしても聖書知識にしても、 な誤解があると言われているのです。 かなどなど、人の信仰の有りようが ど熱心か、その信仰がどれほど深い ほどの信仰を持っているか、どれほ 誤解され、救われるために人はどれ まにか「信仰」が人の行いのように います。つまり「信仰のみ」とルー き理解」がなされていると指摘して かどうかで、救いが決まるかのごと 果ては、その人が洗礼を受けている その人の信仰の熱心さがどの程度か、 仰を持っているかどうか、あるいは という理解について、「その人の信 る」、「信仰によって人は救われる」 なわち「信仰によって義と認められ **八間の側に救いに関する条件、それ** さらに江口先生は続けています。

救いがその人の『自力』による、と わば神の『絶対他力』によるのです。 いうことになっているのです。しか 「仏教の言葉を借用すれば、これでは 救いは人間の自力ではない、 ちを深く憐れまれる主イエスは、 抱えて、それぞれの人生を生きてい ることがあります。そのような私た よるのです。 ところが、私たちは様々なものを

「狭

これこそがルターの語りたかったこ を受けていない方々、さらには教会 堅信を受けずにいる信徒子弟、 恵みが、人の救いをもたらすのです。」 もたらすわけではありません。神の と、ルターの原点、核心です。」「神 に足を踏み入れたことがない方々、 に来ても続けて通えない方々、洗礼 わゆる「別帳会員」となった方々、 教会から遠ざかっている方々、 恵みを受け止めること、これが人 人間の信仰が救いを 礼拝 い 教えられているのです。私たちの手 それらが私たちを真の命に生かすこ 私たちがどれほどの荷物を抱えても、 ものを諦めるようにと招いています。 すべてそれらの自力となるあらゆる してきて努力、受けてきた名誉など、 い戸口から入るよう努めなさい」と とはできないからです。 にしている人生の荷物、 キリスト教の信仰は、私たちの抱 私たちがな

切の人間の側の自力を必要としない そのような方々が救いから遠ざけら ほどの完全な他力によるのです。す 力」、しかも「絶対他力」と言える一 ではないのです。そうではなく「他 ているかといった「自力」によるの 保っているか、何をしたか、何を持っ われるのはその人がどれだけ信仰を とはないでしょうか。しかし人が救 れているかのように考えてしまうこ われても、そのように小さく、 とにほかならないからです。 によって救われることを確信するこ い戸口なのです。 なれば、キリストの十字架こそ、 てではなく、ただキリストの十字架 えてきたありとあらゆるものによっ 私たちが十分に成し遂げる力がな /言う 狭

後第11主日) られたキリストによって、私たちは ることができるのです。これこそ主 それぞれの足りなさに囲まれた人生 私の罪のために、十字架の死を遂げ ありとあらゆるものが足りないと思 る」ということなのです。 くとも、信じきる勇気がなくとも、 イエスが招かれる「狭い戸口から入 をも、安心してむしろ手ぶらで生き (聖霊降臨 弱い

なわちただキリストの十字架にのみ

「共にいてくださる神様」信徒礼拝・記

○村○子

私は今年3月、米寿を迎えましたが、健康にも恵まれ、体力の低下は、今までの道を振り返ってみる時、ただただ感謝しかありません。私の今があるのは、神様の大きな愛と憐れみによる者であることを、しみじみと思うこの頃です。

知ることが出来ました。 につながっていたことを今になって そして顧みる時、ひと筋の道が今

のです。 「主は人の一歩一歩を定め、み旨に「主は人の一歩一歩を定め、み旨にが を備えて下さる。」(詩編37編) の東日本大震災の日が私の誕生日なのです。

がました。 普段は12時過ぎでないことと思って たが、私には関係ないことと思って たが、私には関係ないことと思って たが、私には関係ないことと思って たが、私には関係ないことと思って

小さい子ではありません。20代半ばしばらくして孫が、孫といっても

後から後から涙か溢れてきて言葉が 迎えられた」感謝の祈りをしてくれ は、 作りのお料理が並べられていました。 の社会人の男の子ですが、「おばあ たことは、本当に感謝でした。 族と共に幸せなひと時を過ごせまし が吹き上げるように思い出されて、 て私もお祈りしますと、祈り始めま ました。胸が熱くなりました。続け を合わせて唱えるのですが、その日 食事をする時は、必ず主の祈りを声 みんなが席に着くと、家族が揃って れました。下に降りていくと、食卓 ちゃん、ご飯だよ」と呼びにきてく 途切れました。神様を中心にした家 したが、神様から受けた恵みの数々 には私の好物のにぎり寿司と嫁の手 息子が「88歳の誕生日を元気に

私の母から始まった信仰が、私か私の母から始まった信仰が、私か

のリコーダー教室。これは家でも毎たします。日曜日の礼拝に始まり、毎たします。日曜日の礼拝に始まり、毎になりました。それから隔週月2回になりました。

日練習しないとならないので、ちょっと大変ですが、これも15年続いていと大変ですが、これも15年続いていの勉強会で楽しんでいます。コーラスでも、リコーダーでも、どちらのスでも、リコーダーでも、どちらのがループでも最年長になりました。皆さんから目標にされています。こいきが丘教会では、〇山さんがいらっしゃるので、最年長というわけにはいきませんけれど……。

それからこれも月に1回ですが、ここの集会室で生け花教室でしょうか。う10年くらい続いているでしょうか。最近は教会員以外の方も増えてお花最近は教会員以外の方も増えてお花を生けながら、楽しい交流のひと時

ことです。

さ奉仕として土曜日にお花をいける

幸せを感じるのは、日曜日の礼拝の

また、私の楽しみでもあり、一番

な気がします。を感じ、自然と力が湧いてくるようを感じ、自然と力が湧いてくるよう花に向き合っている時、心に安らぎ

ることも、どんなに私を元気にしてお花に関心を寄せて楽しんでくださ

ています。に幸せに思い、感謝の日々を過ごしは様に在る交わりのあることを本当くださっていることかと思います。

と思います。と思います。しかしそれがのちに大きな恵ます。しかしそれがのちに大きな恵

わぬ病のために苦しんだ過去があり

今はこうして元気ですが、私は思

それは私が20歳の頃、今から68年も前のことです。若い方には想像もつかないと思いますが、日本の国は今のような豊かな国ではありませんでした。敗戦後の貧しい時代の話です。肺結核と診断され、自宅で療養す。肺結核と診断され、自宅で療養す。肺結核と診断され、自宅で療養す。肺結核と診断され、自宅で療養す。時結核と診断され、自宅で療養す。時はなると高い熱に苦しめられ、食欲もなくなり、診療所でもらう薬も飲めない程に衰弱しきって肉体的にも精神的にも苦しい目が続きました。母は毎日私の枕元で聖書をました。母は毎日私の枕元で聖書をました。母は毎日私の枕元で聖書をおいました。

きな穴が空いてしまいました。らず、7、8ヶ月後には私の肺に大

とりの卵位の空洞が出来ていました。レントゲン写真には、右肺ににわ

2つありました。これが治るには、 左の肺にも指の先位の小さい空洞が たことか、自分が子どもを持った時 時の胸中を思うと、どんなに辛かっ と後になって母から聞かされました。 われたそうですが、そのことをずっ せないものと思ってください」と言 れました。母はその時「この夏は越 かなりの年数がかかることを告げら に初めてわかりました。 いくら信仰の強い母とはいえ、その

が、 つ元気になってきました。 の変化も幸いしたのか、私は少しず しの良い静かなところでした。環境 出来た宿舎が与えられたからでした 職についていきましたので、新しく ました。それは父が公務員としての 私たち一家は大田区の雪が谷に移り 秋になって、私の病状が悪い最中 3 階建の最上階で明るく見晴ら

事は、

私自身の信仰によるものでは

ましたから、

知ってはいましたが、

したが、それにも何もありませんで す。念のためにと断層写真も撮りま であの大きな空洞が消えていたので 考え及ばないような方法で、病を癒 はすくい上げてくださり、私たちが 死の淵を歩いていたような私を神様 してくださいました。たった10ヶ月 ある日大学病院を受診しました。

> ることは、その時にはわかりません。 ていてくださいました。神様のなさ しかし神様は私にちゃんと道を備え とも、計画もすべて壊されました。

びと表現できるようなものではあり

な出来事に、その時の気持ちは、喜

私は自分の身に起きたこの不思議

した。

ませんでした。何かの大きな力ある せんでしたので、この不思議な出来 まだ信仰を持つまでには至っていま ます。私は子どもの頃から教会学校 ものに対する恐れだったように思い には通って、神様のお話は聞いてい が出来て幸せでした。 悩みもすべて人並みに経験すること 子を2人与えられ、大きな喜びでし 後になってわかることなのです。 た。そして喜びも楽しみも苦しみも 人と過ごした30年余りの生活で男の その後、私は結婚しましたが、主

もより少し遅くなりましたので、「今 くなりました。その日は礼拝後に聖 私が教会に来ている間に、主人は亡 また大きな試練が与えられました。 歌隊の練習に時間がかかって、いつ 前の週の日曜日のことです。私に 今から29年前の4月、イースター

がかかりました。 気持ちの整理がつくためには時間 取りになるのも神様、すべて神様 すぐ、お昼の支度をしますから」 のみ旨であると頭ではわかっても、 衝撃は今も忘れることが出来ませ と主人の部屋のドアを開けた時の ん。与えてくださるのも神様、お

こんな大きな恵みを受けて、今まで

取るに足りない私のような者が、

元気に生かされてきました。何故と

とが私の信仰の起点になりました。 少し後になってからですが、このこ うに思います。受洗したのは、もう の人生はここから新しく始まったよ 言わせるような体験をしました。私 受診した大学病院の先生に奇跡だと なく、母の信仰、母の祈りによって

うな試練に遭わせる言葉ないばか 「あなたがたを耐えられないよ

だただ感謝があるのみです。

私は病によって、やりたかったこ

選んだのである」。神様の御言葉にた のではない。わたしがあなたがたを ただ「あなたがたがわたしを選んだ 自問自答しますが答えは出ません。

> りか、試練と同時に、それに耐えら 私たちが苦しむ時も悲しむ時も、 神様は試練と同時に耐えられるよう 慰められ、癒されたかしれません。 つも可愛い精一杯の笑顔を見せてく ない中から、満面の笑みを浮かべる なり、私の声が聞こえると姿が見え れるように逃れる道も備えてくださ は信じています。 て、支え導いてくださることを、 た喜びの日にもいつも神様は共にい とママがやきもちを焼くように、 何ヶ月かすると笑顔を見せるように 生まれました。可愛い女の子でした。 主人が亡くなって4ヶ月後に初孫が るのである」と聖書は教えています。 れました。その幼子の笑顔にどの位 に逃れる道を備えてくださいました。 ま 私



家庭集会について

○山○子、○井○子、○谷○子

げてくださいます。 越さんのお宅の26段の石段を運び上 書と讃美歌を大きな袋に入れて、江 車でいらして、いつも全員の分の聖 ましたら、江○さんが途中まで迎え ら一寸迷ってしまい、携帯で連絡し に向かいましたが、バスを降りてか わせてバスに乗り、江○さんのお宅 回だったかと思います。私も〇谷さ まったのは、今年の2月27日が第 に来てくださいました。牧師先生は ●江○さんのお宅で家庭集会が始 永○さんと青葉台の駅で待ち合

ぱい飾られ、美しい食器や飾り物 ご家族やお孫さんのお写真がいっ プに預けてあるそうです。周囲は が、この集まりの日はペットショッ の部屋で犬を2匹飼われています 牧師先生のお説教を聴きます。そ ルを囲んで座り、まずお祈りをし のお宅のリビングの大きなテーブ 回8名位かと思いますが、江○さん て讃美歌を一曲歌い、聖書を読んで 会は午後1時半に始まります。毎

> と云う事かと反省致しました。 師先生のお話やプリントはなかな しなくては、皆様に追いつけない これは私がもう少し聖書の勉強を か難しいと思うこともありますが、 4回位集まったかと思います。 牧 5月29日、そして7月24日ともう の集まりは、初回に続き、3月27日、 目を楽しませてくれます。こ

のお話もありました。 いで読んだことになるでしょうとか うに信じた時、聖書を思い違いしな る者の神なのだ」と云われ、そのよ は死んだ者の神ではなく、生きてい 聖書の読み方として、イエス様は「神 包む無限と云うものだと云う事や、 間のする区別のすべてを超えて覆い 「天の父の完全」という事につい 人間は区別をしますが、天は人

さん、○田さん、永○さん、○山と さん、入山さんご夫妻、○谷さんも す。メンバーは、先生を囲んで江越 がお茶やお菓子を出してくださり、 り、お腹を抱えて笑うこともありま 事や自分の失敗談や気楽なお話もあ 楽しいお喋りが始まります。趣味の ご夫妻のこともありましたし、○井 牧師先生のお話の後は、江○さん

いう顔ぶれです。聖書のお勉強をし た後の楽しい雰囲気も気に入りまし んでおります。(○山○子) て、これはずっと続いて欲しいと望

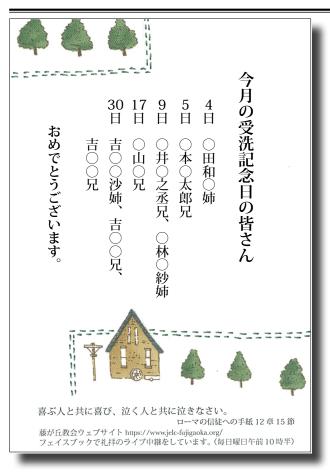
幸せと同じように、心 続けたいと思いました。 に豊かさを感じました。

の日の聖書の箇所を学 ぞれ皆様の反応でした。 初に讃美歌を歌って、そ さり、家庭集会がスター 今年2月より、江○姉 ました」とか、「今も行っ お越しいただき、皆で最 トしました。佐藤先生に がご自宅を開放してくだ は何ですか?」と、それ てますよ」とか、「それ いすると、「昔よく通い しゃいませんか」とお誘 ●「家庭集会へいらっ

> つきます。感謝。(○谷○子) びます。思い思いに感想を話します。 ら違う考えを話す方、実に面白いで ら涙する方、証になる方、真っ向か す。最後に、「恵み」を感じ乍家路に きる雰囲気こそが家庭集会の魅力で 事も恥も外聞もなく、 そして何でもあり! しょうか。昔のことを思い出しなが 率直にお話で 今更聞けない

感謝です。(○井○子) 主日礼拝で神様から恵みをいただく そんな私が家庭集会に行きました。 聖書研究にも出た事がありません。 ●研究心がなく、難しい事が苦手で、





奈川

地区

会が開かれました。

○谷○

お祈りいたします。

どうぞ、

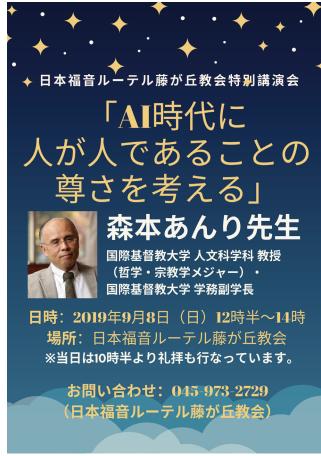
25日の午後、

蒲田教会にて城南神

皆さんのご健康が守られますよう、

子さん、○野○之さん、佐藤牧師が

交わりのためにもお祈りください。



れました。 さんの記念会がご自宅にて執り行わ 作品展の出品者募集を開始していま 13 日 10月の作品展 援金合同委員会がありました。主に ながら親睦を深めることを目的に かれます。 18日の礼拝後、 13日は礼拝後、 について話し合われました。 19日には、 (12日) と信徒交流会 フェスタ+伝道支 交流会が食事を 郎

教会の動向

出席しました。

セージ、聖餐式がありました。 が歌われました。また、こどもメッ 4日の礼拝は、平和主日として守ら 集会は基本的にお休みとなりました。 8月の教会は、 聖歌隊による賛美、「平和の祈り」 例年通り、 週日

ありました。 さいました。 ださる神様」 11 日の礼拝は、信徒礼拝として守 ○村○子さんが「共にいてく 司式を〇田〇一郎さんが担当 と題して証をしてくだ 14日には、 お仕事会が

は 主の祝福をお祈りします。 ○井○介さん、 8月の礼拝に初めて来られたの ○原○司さん、 ○岡珠○さんでした。 ○田○子さん、

牧師室より

と 謝して、 となりました。 とあわせて、皆で真剣に考えて行 さった方々に心より感謝します。 してくださった方々、祈ってくだ なければならないと思います。 行に当たってくださった方々、 感謝します。特に東教区より受けた 話題にしているようです。環境問 つひとつのプログラムを喜んで、 伝道支援金活動も3年計画の最終年 れまでの歩みが主に導かれたことを 秋には様々な行事が続きます。 とても暑い夏でした。考えてみる まだまだ暑い日が続いています。 年の3分の2が過ぎました。 毎年「これまでにない暑さ」と 味わってまいりましょう。 委員として企画、 参 感 実 ح 題 加 か